

5/15
2007年 第943号
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
敬 志岐
発行人 志岐
大阪市浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

第48回定期総会

記念講演「豊かな脳を育てる食脳学」

5月27日(日) 三井アーバンホテル大阪ベイタワー
12時30分～ 地下鉄・JR「弁天町」駅から徒歩3分

さらにおいしく食べ、豊かな食生活や食文化形成、楽しく共に食べる喜び、健康で仕事も勉

果、メタボリックシンドロームのリスクファクターである肥満や高血糖値が抑制されます。健康な生体を維持するための噛むことの生理学的な豊富な話題が提示されるでしょう。

力的に著作・講演を続けられておられる大島清・京大名誉教授です。大島氏は霊長類の咀嚼と脳の進化の過程を科学的に解明するなかで、ヒトの噛むことの様々な効果や重要な点を強調されています。よく噛むことが脳へ多量の情報を伝達し、唾液分泌の亢進を引き起こします。その結果、メタボリックシンドロームのリスクファクターである肥満や高血糖値が抑制されます。健康な生体を維持するための噛むことの生理学的な豊富な話題が提示されるでしょう。

大島氏は霊長類の咀嚼と脳の進化の過程を科学的に解明するなかで、ヒトの噛むことの様々な効果や重要な点を強調されています。よく噛むことが脳へ多量の情報を伝達し、唾液分泌の亢進を引き起こします。その結果、メタボリックシンドロームのリスクファクターである肥満や高血糖値が抑制されます。健康な生体を維持するための噛むことの生理学的な豊富な話題が提示されるでしょう。



講師 大島 清氏
(京大名誉教授・生殖生理学専攻・医学博士)
山上紘志(副理事長)が参加の訴え

第3回 日常診療経験交流会

日時 6月10日(日) 9時30分～16時
会場 三井アーバンホテル大阪ベイタワー(港区・弁天町) 医科・歯科融合

●シンポジウム(午後1時～4時)

「生活習慣病の予防—公衆衛生の立場から—」

大阪大学大学院医学研究科公衆衛生学教室教授

磯 博康氏



「メタボリックシンドロームは正しく伝えられているか? ~分子のしくみから地域の取り組みまで」

大阪大学大学院医学系研究科 准教授
大阪大学医学部附属病院・病院教授

船橋 徹氏



「訪問歯科診療における経口摂取の取り組み」

歯科医・松原市開業

塩井 孝氏



「食を基本に 思春期を見通した子育てを」

大阪千代田短期大学非常勤講師
家庭栄養研究会 運営委員

山崎 万里氏



「未来を見つめる地域医療」

より良く食べるはより良く生きる

演題固まる



誤嚥性肺炎など全身疾患と口腔ケアの関わりを話す田中氏=4月15日、M&Dホール

8020運動の成果による有歯・高齢者の増加、また生活習慣病を基礎とした多様なかつ重篤な患者が増加すると思われ、歯周病原菌が唾液中と共に気道に入ること

で誤嚥性肺炎に罹患したり、血管内に入り組織内で炎症を引き起こす。その結果歯周病と心疾患、糖尿病などの全身疾患との相関関係が明らかに

①誤嚥性肺炎は、積極的に口腔ケアを行った場合、行わなかった対照群に比べ発熱、肺炎発症者は有意に低いという研究結果もある。

②心疾患、中でも感染性心内膜炎(IE)と歯科治療(疾患)は関連性が深く、原因菌の多くはレンサ球菌、ブドウ球菌など口腔常在菌である。特に、弁疾患などIE罹患の可能性が高い疾病にはスクリーニングであって

③高齢者では肝機能が低下している場合が多く、抗凝固剤、抗血小板薬服用患者に対しては術前の止血検査が必要である。休薬はしないで治療するのが原則で、抜歯後止血はゼラチンスポンジや縫合、シーネを活用すべきである。

④高齢者は易感染性である。IE(感染性心内膜炎)ハイリスク患者、免疫抑制剤服用患者はも

4月度生涯研

高齢・有病者の歯科治療 生活習慣病や観血処置の与薬など

協会の歯科臨床学術学術部は、田中義弘氏(神戸市立中央市民病院歯科部長)を講師に「高齢者歯科診療マニュアル」と題して生涯研修講座を4月15日、M&Dホールで開いた。歯科医師ら69人が参加した。

も注意する必要性があり、歯周炎や歯をつくらないために普段からの口腔ケアが重要である。また観血処置に際しては十分な抗生物質、抗菌薬を前投与し菌血症を最低限にするよう慎重な操作が望まれる。

の点から積極的に投薬(前投薬)すべきである。最後にビスホスホネート(BP)系薬剤についての注意があった。副作用として抜歯後の骨髄壊死・顎骨骨髄炎があり、

義歯による潰瘍からでも起こるといふ報告もある。骨髄壊死を起こすと治療まで長期間を要するので外科処置等は慎重に行うこと。BP系薬剤には注射剤と経口剤があり、注射剤は乳ガンの骨転移を防止するため術後かなり長期にわたって注射を行っている症例もある。経口剤は適応症に骨粗鬆症があり、中高年の女性では服用されている患者さんがおられるので十分問診を行うこと。服用の仕方が特殊で「起床直後十分の

●分科会(午前9時30分～11時30分) ※4月末時点での演題応募者

| 題・所属・報告者 | 報告者 |
|--------------------------------------|---|
| 「15分で語る子どもの食育」 | 浪速区・歯科 豊田 裕章氏 |
| 「より少なく食べるはより良く生きる」 | 泉大津市・内科 高橋 典章氏 |
| 「遊び感覚で取り組むバイキングダイエット」 | 城東区・内科 たかもと診療所看護師・中沢 和子氏 |
| 「男性型脱毛症(AGA)の一症例」 | 摂津市・皮膚泌尿器科 森 昭氏 |
| 「腹部の皮疹を主訴に来院した3例」 | 北区・皮膚科、内科 谷口 恭氏 |
| 「メタボリックシンドロームの視点に立った生活習慣病予防教室の実施報告」 | 堺市・保健師 吉尾 素子氏 |
| 「よりよく食べるはよりよく生きる—噛めば体が強くなる」 | 枚方市・歯科 小山 栄三氏 |
| 「電子カルテ導入後のHbA1cの変化」 | 港区・みなと生協診療所・看護師 中村 梨香氏 |
| 「パワーリハビリテーション導入について」 | 守口市・内科・橋本クリニック 高木氏、船津氏 |
| 「女医が第一線で働き続ける為に」 | 泉大津市・歯科 高橋 靖子氏 |
| 「腎性貧血の在宅管理について」 | 東大阪市・内科 岡本 雅之氏 |
| 「内臓脂肪量と頸動脈プラークの関連」 | 港区・みなと生協診療所 倉澤 高志氏 |
| 「大東市介護予防事業の口腔機能向上教室に参加して」 | 東大阪市・歯科 貴島真佐子氏 |
| 「口腔機能向上を目標とする自主グループ『8020メイト』育成の取り組み」 | 堺市・歯科衛生士 服部 真代氏 |
| 「歯を抜かない歯列矯正治療」 | 枚方市・歯科 小山 栄三氏 |
| 「歯科パノラマフィルムの簡易デジタル化」 | 東大阪・歯科 西川 真二氏 |
| 「歯周病と全身疾患～特に関係のある糖尿病について」 | 東成区・歯科 土井 英暉氏 |
| 「ファシリテーターを含めた経営会議の有効性について」 | 東淀川区・清水クリニック・清水聖保氏、事務長・徳山直成氏、徳山千洋氏 |
| 「医事課業務の問題点と対策」 | 忠岡町・外科・安藤医院医事課 草野 美穂氏 (ポスターセッション)「上顎前歯部における抜歯即時インプラント(HAコーティングインプラント)の有効性」 淀川区・歯科 林 哲平氏 |

参加希望の方は、本紙に同封されています「参加用紙」に、お名前、住所、連絡先等をご記入の上、06-6568-0564(まで)返送ください。
●参加費 歯科医師1,000円、スタッフ500円
●昼食代 2,000円(希望者のみ事前申し込み)

診療報酬オンライン請求の義務化撤回を求める要請書

ファクスでご返信ください
協会FAX 06-6568-0564

協会・保団連は、オンライン請求義務化に対して①開業保険医の請求権剥奪を招く恐れがある②情報の安全性の確保で問題点を含んでいる—などの理由から署名運動に取り組んでいます。今号でお送りした要請書に、ぜひご協力をお願いします。

歯界

大型連休では、休診による減収に頭が痛い歯科界と違い、観光旅行業界は連休中の国内での人出が昨年を上回るなど、賑わいを見せた。彼等の新商品開発はホテルや設備など直接金のかかる投資と違って、アイデアの勝負である。人工透析の設備と人材付きのバックアップもあるらしいが、団塊世代と若いニア・セレブが最近の業者の需要ターゲットである。

新婚旅行を海外でして、親に初めての海外旅行をさせたという夢を持つ若者も多い。繁殖期の若者は、新婚旅行どころでない仕事の責任が大きい年代でもある。多忙でふと気が付けば子持ちになっている。そこで業者は赤ちゃん連れの「新婚バックツアー」を発売した。哺乳びんから玩具までいろいろな特典を付け、極め付けは「ムーニー紙おしめ遣い放題サービス」である。紙おしめは旅行者には意外とかさばる重荷らしい。ただし、これは赤ちゃん用で年寄りの「お漏らし用おむつ」ではない。